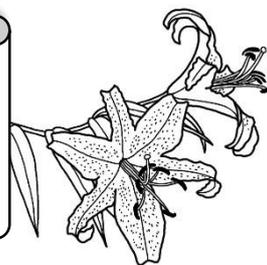


勝田中学校だより〈平成 28 年 1 月 7 日 号外〉

やまゆい

勝田中学校長
西村 睦美



新年を迎え、いよいよ一年間の
学びの総まとめをする三学期がス
タートしました。旧年中は、保護
者の皆様方に温かいまなざしで見
守っていただき、心から御礼申し
上げます。本年も教職員一同、子
どもたちの豊かな成長を支えてま
いります。なにとぞ、よろしくお
願い申し上げます。



本年度の PTA 新聞『たかつえ』に掲載した私の原稿、1 学期のタイトルは「46 人の挑戦が始まりました!」、2 学期のタイトルは「挑戦! そして、夢を拓く」でした。その中でも、この一年、生徒たちが頑張ってきた様子は書かせていただいています。が、「新生勝田中学校」を合い言葉に、生徒も教職員も共にいろいろな取組に一生懸命取り組んだ平成 27 年でした。

いよいよ平成 28 年の幕開け、3 学期が始まりました。それぞれの学年の学活に参加させてもらっています。学力向上を目標にさまざまな取組を行っている本校では、昨年 4 月から「書く」という活動を重視してきました。もちろん「書く」活動は、学力向上の手立てとして大切なことですが、何よりも「自分で考える(頭を働かせる)」時間を持つための活動です。

「作文は苦手だ」「原稿用紙のマス目の問題を見たら、もうダメだと思ってしまう」そんな印象を持っている生徒が多い本校。「何を書いたらいいか、わからない」というのが正直な気持ちだと思います。「何を書くか?」書く内容を絞る力は、平素からの「書く」習慣が基礎になります。「書く」ことを苦しめない習慣形成がポイントです。そのため、改めて「ノート作り」3 種についてまとめたものが、今回の「3 学期 書く力を伸ばそう」です。

生徒たちには、この資料を基に学活で説明をして、毎日少しずつ取り組んでいくことを指導しました。特に 3 学期から新たに始める『夢ノート』はテスト直しの習慣付けも兼ねています。「継続は力なり」まずは、始めます。ご家庭でも、生徒たちが『夢ノート』や『新・生活ノート』に向かっているときに、一声「がんばってるね」とお声かけをしていただくと幸いです。「続ける」ということは、大人でもなかなか難しいことです。励ましか確かめがないと、なかなか続けられません。学校でも点検やコメントを工夫しますが、家庭でも関心をもっていただくと励ましてやってください。よろしくお願いいたします。

3 学期も学校と家庭とがしっかりと協力して生徒たちを支え、よりよい成長を実現しましょう。